



横浜市アマチュア無線非常通信協会 会報

# 0 S 0 浜 h a m 通 信

平成18年7月31日 第7号

発行者 横浜市アマチュア無線非常通信協会

会長 森本 邦彦

編集者 斎藤文三 中澤裕一 片山晋 丸山典子



新体制による、更なる発展を！！

JA1CGC 会長 森本 邦彦

平成18年度総会にて第3代会長に就任いたしました。

前会長西山藤一郎氏の突然のご逝去により慌しい日々の連続でした。今まで裏方として協力会の発展に努力してまいりましたが、会長に就任し、先頭に立ち戸惑いを隠せません。支えてくださる理事・監事・支部長各位のご支援が協力会発展に欠かせません。各位の更なるご協力をお願い致します。

さて、協力会は、他に類の無い組織と自負しております、10年前の阪神淡路大震災後各地に非常通信を目的としたアマチュア無線家の組織が数多く誕生しました、しかし横浜市のような大都市において現時点で同様の組織を立ち上げる事は非常に困難でありましょう。

35年前(昭和36年)横浜市長の要請により僅か半年で設立し、当時の14区に支部が出来ました。ひとえに行政の支援が、短期間に組織を創る事を可能にしました。

横浜市の危機管理に対する先見の明が、「横浜市アマチュア無線非常通信協会」を育て成熟した組織となりました。

34年後の現在高度情報通信機器が整備され、我々の初期の目的は達成したと思います。

市役所にありました事務局が協力会に移転し、行政から見放された感はありませんが、何時までも行政に頼っているのは今後の成長を望め、

ず、自主独立し我々の持っている通信技術と英知を結集し更なる発展をしようではありませんか。

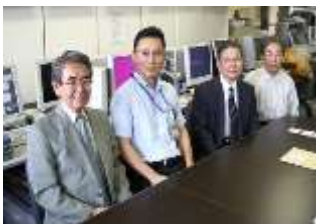
我々の組織は、横浜市民に安全と安心を提供し、地域防災拠点運営委員会に認知され多くの住民から支持を受ける存在になりました。災害発生のときに、行政の補完組織を目的に邁進いたしましょう。会員各位のご協力をお願いし就任の挨拶と致します。



役員人事のご紹介(18、19年度)

会 長	JA1CGC	森本 邦彦
副会長	JR1NVW	斎藤 文三 広報・会報担当
同	JA1XLU	片山 晋 会員管理担当
理 事	JF1XBQ	川畑 正司 事務局長
同	JA1GTZ	佐藤 勝廣 コンテスト担当
同	JG1GQH	渡邊 潤 支部長会担当
同	J11JUX	中澤 裕一 広報・会報担当
同	JA1SKY	宮本 尚 支部長会担当
同	JA1UVS	鈴木 智夫 支部長会担当
同	JK4MRL	松永 喬 事務局担当
(支部長会担当は区役所クラブ局管理を含む)		
監 事	JA1JFT	薄井啓一
同	JE1OXG	堀江喜一郎
顧 問	JA1AX	野村 五郎
同	JA1BOA	鈴木 政夫

## 新役員 市役所へご挨拶



左から森本会長、荒巻危機管理室長、斎藤・片山副会長

6月28日午前11時森本会長・斎藤・片山副会長3名

役員就任のご挨拶に横浜市の役所を訪問し、組織が変更された安全管理局危機管理室 室長荒巻照和氏に面会いたしました。

総会にご臨席いただいた岩崎課長有賀氏が同席され約1時間の会合を持つ事が出来ました。

冒頭、会長よりアマチュア無線に関し、又本会の設立より今日までの活動について詳細説明されました。

室長は、消防局出身で無線通信に詳しく我々の組織を充分ご理解いただくことが出来ました。

役所より「危機管理特に情報に関しては、デジタル無線電話装置を配備しても協力会の存在を高く評価し更なる協力を期待します。危機管理に万全がありません、協力会は必要な組織と認識しています。」

こちらから「協力会の会員は無線通信技術に精通しています。デジタル無線電話装置に関し運用及び取り扱い等につき協力する準備が出来ており、危機管理室より要請を頂き、区役所担当者及び地域防災拠点運営委員会に協力会の存在を公式に伝達されるよう要望いたしました。」

現時点でデジタル電話の、マニュアルも完成していないが、配備された電話の日常の利用を検討し通信料金の削減も合わせて模索中である。

非常時には、通信が統制され人命の救助、災害の救援等通信順位がつけられ大変有用な通信機能を持つ設備である等の説明がありました。オール横浜コンテストに関して、支部対抗部門室長賞は協力会の士気高揚へ大変喜ばれているなど話題で盛り上がりました。協定上の会員の個人情報報告に関して、市役所職員名簿も生年月日が削除された、協力会名簿もコールサイン・従事者免許番号で本人を特定できるので生年月日の報告は削除してもよいとの見解が明示されました。しかしながら、区役所クラブ局構成員の内理事は、生年月日が必要であり、協力会会員管理は従来通り生年月日の登録を要請する。生年月日の登録は、支部長の裁量ではなく会員個人の判断とするとの見解で両者一致しました。

## 西山前会長偲ぶ会開催

### JARL会長も出席され

西山前会長が突然亡くなられ、本会及び関係者に衝撃が走ってから、ようやく新会長及び役員も決まり新たな出発となりました。本会顧問の JA1AX 野村五郎OM(偲ぶ会代表幹事)を中心に日本アマチュア無線連盟原会長をお招きして「JA1OBY西山藤一郎さんを偲ぶ会」が開催される運びになりました。協力会会員の皆さんにも出来るだけ多くご参加をお願い致します。

開催日時 9月27日(水)午後7時より、開催場所 中華街「広東飯店」、会費5,000円。

幹事 JA1CGC 森本邦彦

# 総会報告

## 本年度定時総会は5月21日に開催されました

開催日時 平成18年5月21日 日曜日 13:30～15:40  
開催場所 横浜市 市民防災センター 研修室  
司会の川畑氏(JF1XBQ)が定刻になり開会を宣し、故西山前会長を悼む黙とうで始まりました。

### 森本会長挨拶要旨

本会は設立より34年を迎えたが、その間大災害に見舞われることもなく幸運であった。前西山会長(JA10BY)のお通や、告別式に対するお礼の言葉があり、前西山会長の業績の紹介がありました。本会の地域防災活動は認知され、役員、支部長は大変多忙になった事、デジタル無線設備も揃いつつあるが、本会は市民のための情報ネットワークアップ機構でありこれからも充実していきたい。

### 来賓挨拶要旨 横浜市役所安全管理局危機管理室 岩崎課長殿 同席 西原係長、有賀氏

平成18年4月1日付けで着任、宜しくお願ひします。横浜市は121団体と協定を結んでいるが、アマチュア無線非常通信協力会が一番初めに協定を結んだ団体と聞いている。安全管理局は平成18年横浜市の組織改定で消防局+総務局+市民局が統合されて発足した組織である。平成17年の阪神淡路大震災は悲惨で、この惨事をきっかけにボランティアも多く出来た。無線技術は災害時において強い力を発揮出来る。携帯電話はバンクしてしまう。行政無線も平成19年までに完備されるが、通信網の機能強化は大変重要であるので、皆様の協力を宜しくお願ひします。

### 議長に宮本氏(JA1SKY)を指名。

宮本議長が書記に中澤氏(JI1JUX)、鈴木氏(JA1UVS)の2名を指名。また、議事録署名人に林田氏(JE1VTL)、渡邊氏(JG1GQH)を指名し、総会議事に入った。

### 総会成立確認

定数 各支部長、代議員54名 本部理事(支部長兼任除く)8名  
総数62名 出席席者47名 (委任状4名) 合計51名

### 第1号議案 森本会長より平成17年度事業報告がされた。 (4ページ参照)

### 監査報告

監事 鈴木氏(JA1BOA)、薄井氏(JA1JFT)より本会の規約13条5項の役員の責務に基づき平成17年4月1日より平成18年3月1日までの監査報告がなされた。  
事業に関し、理事会の出席等、規約第3条(目的) 第4条(事業)に基づき、適正な運営が行われた旨報告。  
会計については、会費はなく、交付金、助成金もないことから会計報告はない旨報告。

### 第2号議案 理事・監事改選 (4ページ参照)

選挙管理委員会 委員 佐藤氏(JF1TAB)より 任期満了による理事・監事改選に関する立候補者の報告がされた。  
平成18年1月10日に告示、2月1日～2月20日立候補の受付を行ったところ、次の立候補があった。  
森本邦彦 JA1GCG 泉区支部 ・斉藤文三 JR1NVW 都筑区支部  
宮本 尚 JA1SKY 旭区支部 ・中澤裕一 JI1JUX 都筑区支部  
薄井啓一 JA1JFT 鶴見区支部・福本亀夫 JL1SPI 戸塚区支部  
川畑正司 JF1XBQ 泉区支部 ・片山 晋 JA1XLU 磯子区支部  
鈴木智夫 JA1UVS 緑区支部  
定数12名に対し9名の立候補であり、選挙管理委員会は全員を当選と決した。



写真は事業報告を行っている森本会長、右は議長団

森本会長より立候補者以外の理事推薦者について報告がされた  
佐藤勝廣 JA1GTZ 保土ヶ谷区支部 ・渡邊 潤 JG1GQH 戸塚区支部  
堀江喜一郎 JE10XL 神奈川区支部  
2月26日 福本亀夫氏が都合により立候補を辞退、1名の不足が生じた。よって、理事会は辞退した福本氏の戸塚区支部から松永喬 JK4MRL/1氏を推薦することとした。  
新理事による審議の結果、理事の互選により森本邦彦氏を会長に選出。

森本会長より役員人事が報告され承認された。

1ページに掲載したので省略

### 第3号議案 平成18年度事業計画(案)

斉藤副会長より 事業計画(案)が報告された。(4ページ参照)  
3号議案は、承認され、日程の未定事業については決まり次第、広報担当より各支部長あて連絡することとした。

### [3号議題に関連した補足]

- ・第58回オール横浜コンテストについて  
コンテスト事務局(旭区支部 永山氏)より8月27日 5:00～7:00で開催し、今回から電信の得点を1点から2点とするとの説明があった。その他、新人賞(開局から3年以内の局)を設けた。また、コンテスト参加者は事務局は直接個人メールでやりとりする。[詳細は紙ベースの規約を参照・・・各支部長に配付]
- ・防災フェアー 赤レンガ倉庫広場開催予定について  
日程が未定だが決まり次第、広報より連絡する。  
(その後決定、3ページ参照)
- ・情報連絡について  
上記に関連し、規約改定時の決定事項通り、全ての情報連絡は必ず広報担当理事が各支部に対し行うことが栄支部 宇田川支部長より提案され再確認された。
- ・横浜市防災訓練について  
青葉支部 濱田氏より9月1日の横浜市防災訓練について概要が報告され、今回は本部と4カ所の地域防災拠点を結んで実施されることである。詳細は現在検討中。

### 第4号議案

片山副会長(会員管理担当理事)より支部員の報告時期、会員の生年分布について報告がされた。支部員の本部報告は時々刻々(1、2名の増減時)の報告でも良い。市へは年2～3回報告予定。参考に会員の生年構成は若い、平成元年～6年が5名、年配、大正15年～11年が13名である。  
市も退会日は不要とのことなので、フォーマットを変更し支部長会で承認を貰いたい。  
支部員報告で、記入事項(資格、生年月日等)の記入不備がある支部があり、支部長会で不備のないようお願いする。  
なぜ、生年月日が必要か?等個人情報保護関連の議論が、栄区宇多川支部長、港南区佐野支部長他と森本会長、片山副会長、斉藤副会長他でなされたが細部は支部長会で議論することとなった。また、支部員報告は個人情報の漏洩を防止するため、当面、片山副会長(会員管理担当理事)と直接行うこととした。  
戸塚区支部 渡邊支部長より会員情報は市に提出ご区役所へ落ちないのかとの質問があり、片山副会長が確認することとした。



## 支部活動情報

## -----支部長会 18年度 第1回 開催報告-----

本年度第1回支部長会は、7月1日横浜駅西口近くのサポートセンターで開催しました。活発な意見交換があり、その要旨を下記に掲載致します。参加者：堀川、安藤、片野、太田、中嶋、安田、今野、渡辺、宮本、清田、平林、宇田川、川畑、斉藤、片山、鈴木、堀江、以上支部及び本部を合わせて17名参加。

議長は持ちまわり制で西区、中区、南区と欠席のため保土ヶ谷区支部太田支部長を議長に指名、議事に入る。先の総会で懸案となった会員名簿、個人情報の取り扱いについて。片山副会長より説明。市危機管理室に指定の期日に現在の各支部ごとの会員数を報告する。

（報告内容：所属区、氏名、従事者免許番号、コールサイン、登録日）災害時の補償対応として、名簿は必要であり、また各区役所無線局構成員名簿としても必要となる。（特に構成員名簿用として、従事者免許証番号と開局者はコールサインが必須条件であり、さらに代表、理事は生年月日、住所、も必要。）

会員名簿は、その用途以外には開示しない。会員名簿の報告に関し、退会日は本部として必要ないので、支部長管理でよい。電話、メールアドレスは不要である。メールアドレスは今までも報告の実績なし。

名簿内容に関し、6支部だけが完全であり、必須項目に不備のある支部に関しては、順次整備していただきたい。構成員名簿については、横浜市役所の区役所クラブ局担当に書類を送っている。18歳未満の会員については、親の同意書が必要なので、備考欄にその旨記入すること。（退会日欄を流用してよい）補償制度については、会員が横浜在住又は横浜在勤に限る、在住又在勤でないものは対象とならない。

旭、宮本支部長より。

会員名簿について、各項目別に利用を分けたほうがいい。a：支部長管理事項b：局免用事項c：補償用事項d：市、会員数把握事項また、区役所クラブ局担当に送っている書類について、会として統一した書式を公表し、各支部から報告を出すべきである。以上提案に関し、次の理事会にて検討としたい。区役所無線機点検報告について、2006年度点検内容は別途宮本までメールで報告願いたい。

戸塚区支部では病院4箇所にて連絡網を構築した。支部活動報告は時間も無いため各支部より広報へ報告すること。

その他 a：会員証に使用する角印のモデルを本部より出して欲しいとの提案があったが、各支部独自に作成してはとの意見になった。b：会場費カンパを、各支部長より集めた。c：次回支部長会は、11月11日 土曜日 17時より、HOKUTOにて開催。忘年会を兼ねて実施。



## 青葉区支部

”横浜市総合防災訓練は、

今年度は青葉区支部の担当で開催”

横浜市アマチュア無線非常通信協力会も参加し、通信訓練を実施の予定。既に5月、6月と2回定期会議を実施し具体的方法が打合せされた。今回の訓練は集中型でなく、区役所を本部とし、各非難拠点（4箇所）の会場に分散したやり方で実施される。会場として新石川小学校、荏田西小学校、鴨志田緑小学校、奈良の丘小学校。その中で当非常通信協力会として情報受伝達訓練を行う。

青葉区支部状況報告（1月～6月）

- 1、2月に東市ヶ尾小学校にて市ヶ尾地区における避難訓練含めた通信訓練を実施。
- 2、青葉区医師会より非常時における対応につき会議参加要請があり出席。今後、医師会の人たちも免許を取得し効率的に進めたいということから養成講習などを提案し進めることを検討。
- 3、新年度となり青葉区支部の総会を6月に開催し、小野支部長、杉山副支部長、濱田事務局長、上田理事、高橋理事、荏原監事の役員体制でスタートとなった。
- 4、デジタル通信機を設置すれば、アマチュア無線の非常通信協力は必要なくなるなどの話題が聞こえてきますが、何が起こるか分からないのが災害の怖さです。また実際の運用や使用にあたっての技術レベルから、必要性がなくなるとは思えません。危機管理室でもアマチュア無線は必要なくなったなどとは言っておりません。事あるごとに協力をお願いすると表明しています。是非、前向きな取組みをしていくことを願っています。

小野青葉区支部長

## 旭区支部

- 4/23 支部総会開催、前年活動報告、新年度活動方針、役員改選
- 5/21 本部総会出席
- 5/30 区防災拠点運営委員会連絡協議会総会出席
- 3-6月 防災拠点訓練、無線機点検実施

区総務へ依頼事項

会員用腕章の追加作成、防災拠点運営用、協力会幟の作成  
今後の連絡体制の確認、支部活動のための会議室借用

宮本旭区支部長

## デジタル電話設置スタート

既報の防災拠点に設置されるデジタル電話は昨年からの設置が始まられています。危機管理室では担当者が各区を回り詳細な説明を行っています。

- 1：横浜市役所、区役所、市内全ての地域防災拠点が結ばれ市役所または区役所から一斉通報が出来、職員室内に設置してある天井スピーカーからも通報が発せられる。
- 2：ファックス、パソコンも接続、送受信できる。
- 3：装置本体から無線機をはずし携帯無線機としても使用出来る。但し、中継器の性能の関係で約1年、使用出来ない地域もあります。もちろん、携帯無線機として使用している時はFAXも使用出来ません。
- 4：各防災拠点ごと、本体に接続する防災電話機が3台あり、校長室と職員室などへ設置され、1台は備蓄庫に保管されています。この防災電話機は通常の電話機としても使用出来ます。災害時施錠されていて職員室、校長室に入室出来ない場合、職員室の外に設置されているモジュラージャックに備蓄庫に保管されている防災電話機を接続して使用します。

## 防災フェアは緑区支部が担当

8月26日から27日赤レンガ公園にて

例年参加している防災フェアも泉区、都筑区、磯子区、鶴見区、戸塚区、緑区と6回目の参加になりました。緑区支部では参加に備えて準備会議を7/17に開きました。災害時アマチュア無線がいかに有効であるかをアピールされるようで、会員の皆さんも是非足を運んでみて下さい。

## オール横浜コンテスト！！

8月27日早朝28MHzで

総合優勝、室長賞連覇実現するのか、今年は大変興味深い戦いになりそうです。ベテランをメンバーに揃えたコンテスト軍団も腕を磨いて待っています。本年からルールも多少変わり電信には2点、新人賞（開局3年JA1AX賞）、58回コンテスト委員長賞、WAY賞、（JA1DKK）などあり、商品にパドルが出そうです。

総会議案の詳細（2ページからの続き）

第1号議案 平成17年度事業報告  
平成17年4月30日 会員名簿提出 会員数924名  
会報5号発行  
5月11日 理事会開催 横浜西口「HOKUTO」  
総会付託議案審議 事業報告 事業計画案作成 式次第等  
5月28日総会開催 横浜市民防災センター午後1時より5時まで  
  
7月 3日 支部長会開催 横浜西口「県民プラザ」  
8月27日～28日 防災フェアー 赤レンガ倉庫広場 戸塚区  
支部担当  
8月28日 オール横浜コンテスト開催  
9月1日 横浜市防災訓練 本部会場旭区ゾーラシア駐車場  
緑区支部担当 旭区支部応援  
11月12日 支部長会 横浜西口「HOKUTO」  
12月9日 オール横浜コンテスト表彰式 横浜市民防災センター  
懇親会 横浜西口「HOKUTO」にて  
選挙管理委員会 委員長指名 JA1OZK 綿貫氏  
委員 JH1FUD 金谷氏  
委員 JF1TAB 佐藤氏  
平成18年1月10日 役員改定 理事・監事改選 選挙公告  
27日 西山会長御逝去2月1日通夜 2日告別式  
1月28日 森本副会長 会長代行となる  
2月28日 会報6号発行  
理事・監事立候補受付 （2月1日受付開始 2月20日締め切り）  
受付担当 事務局  
2月25日 理事会開催 横浜西口「HOKUTO」  
森本会長代行を総会までの任期会長に選出  
理事・監事立候補者確認 不足定数候補者推薦  
3月12日 支部長会開催 横浜西口「県民プラザ」

定数12に対し9の立候補がありました。よって選挙管理委員会は全員  
を当選と決しました。不足は、総会にて承認後理事会にて選出する。  
  
2月26日 福本亀夫氏都合により立候補を辞退されました。  
理事会にて次の方を理事・監事候補者として推薦いたします。  
佐藤 勝廣 JA1GTZ 保土ヶ谷区支部  
渡邊 潤 JG1GQH 戸塚区支部  
堀江喜一郎 JE1OXL 神奈川区支部  
松永 喬 JK4MRL/1 戸塚区支部

第3号議案 平成18年度事業計画（案）  
平成18年4月23日 理事会開催 横浜西口「HOKUTO」  
総会付託議案審議 事業報告 事業計画案作成 式次第等  
4月30日 会員名簿提出 会員数 949名  
5月21日 総会開催 横浜市民防災センター 午後2時より  
5時まで  
7月 1日 支部長会開催 横浜西口「県民プラザ」  
7月 9日 理事会開催 横浜西口「HOKUTO」  
7月31日 会報7号発行  
8月 26日～27日 防災フェアー 赤レンガ倉庫広場  
緑区支部担当  
8月27日 オール横浜コンテスト開催  
9月 1日 横浜市防災訓練 本部会場青葉区 青葉区支部担当  
11月11日 支部長会、理事会開催  
12月 オール横浜コンテスト表彰式 横浜市民防災センター  
平成19年3月 支部長会、 理事会

※ 総会時原案に、その後確定した日にち、行事予定項目を一部編集部  
で追加いたしました。

第2号議案 任期満了による理事・監事改選  
理事・監事立候補者確定報告  
平成18年2月21日  
選挙管理委員会  
委員長 JA1OZK 綿貫 政功  
委員 JH1FUD 金谷 建  
委員 JF1TAB 佐藤 忠夫  
平成18年1月10日に告示し、2月1日より20日間立候補の受付  
を行いました。次の各位が立候補を届け出られました。

届出日	氏 名	コールサイン	所属支部
2月 1日	森本 邦彦	JA1CGC	泉区支部
2月 1日	斉藤 文三	JR1NVW	都筑区支部
2月 4日	宮本 尚	JA1SKY	旭区支部
2月 6日	中澤 裕一	J11JUX	都筑区支部
2月 6日	薄井 啓一	JA1JFT	鶴見区支部
2月 7日	福本 亀夫	JL1SPI	戸塚区支部
2月16日	川畑 正司	JF1XBQ	泉区支部
2月19日	片山 晋	JA1XLU	磯子区支部
2月19日	鈴木 智夫	JA1UVS	緑区支部

現況報告 支部長 会員数 H18.06.11現在				
鶴見区	JH1SUM	堀川 勝次	37名	
神奈川区	JF1BNA	安藤 和男	64名	
西区	JA1ALN	千石 明	36名	
中区	JE1ESN	佐藤 通雄	16名	
南区	JJ1AKB	山田 幸一	63名	
港南区	JA3CBS	佐野 和義	120名	
保土ヶ谷区	JK1DRM	太田 稔	22名	
旭区	JA1SKY	宮本 尚	93名	
磯子区	JA1CQT	中西 洋夫	51名	
金沢区	JA1HQH	安田 和彦	36名	
港北区	JF1CFK	今野 和夫	58名	
緑区	7M4CBF	平林 泰之	44名	
戸塚区	JG1GQH	渡辺 潤	45名	
瀬谷区	JA1IZ	竹内 正弘	19名	
栄区	JG1UAE	宇田川 淳	24名	
泉区	JF1XBQ	川畑 正司	40名	
青葉区	JA2GUW	小野 治	41名	
都筑区	JR1NVW	斉藤 文三	135名	
合計944名				

編集後記



書中お見舞い申しあげます。 これを書いている時点では、長野や九州の方々へ豪雨のお見舞いを言わねばなりません。幸いにして横浜では特に被害はないようですが、災害への備えは怠り無くしておきたいものです。本号は、総会および支部長会報告が中心ですが、森本新会長の更なる発展への志、荒巻危機管理室長の永続的な協力の要請等、協力会の役割の重さは大きくなって軽くなることはないと思います。各区支部の防災訓練も複数拠点で連携した実戦的訓練になってきています。地域防災拠点配備のデジタル携帯電話との連携も必要です。病院の通信網立ち上げの話もあります。我々の活動も進化と多様化をしており、各区支部との情報交換、意見交換が益々重要で、本誌の役割の重さを感じます。